

## 予 算 要 求 資 料

令和8年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：防災費 目：防災総務費

## 事業名【新】地域防災クラブ等活動支援事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

危機管理部 防災課 防災企画係 電話番号：058-272-1111(内2839)

E-mail : c11115@pref.gifu.lg.jp

1 事 業 費 500 千円 (前年度予算額) : 0 千円

## &lt;財源内訳&gt;

区分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支 出 金	分 担 金 負 担 金	使 用 料 手 数 料	財 産 収 入	寄 附 金	そ の 他	県 債	一 般 財 源
前年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要求額	500	0	0	0	0	0	0	0	500
決定額									

## 2 要 求 内 容

## (1) 要求の趣旨(現状と課題)

地域の防災力向上のためには、未来を担う子どもへの防災教育が欠かせない。学校現場でも防災教育の時間はあるものの、学校や担当する教員の防災意識により差が生じる。

本県では、他県では例がない、地域移行した部活動での防災に取組む地域防災クラブが存在しているが、その活動は局所的で広く知られていない状況である。

## 【主な課題】

- 「防災」の活動の重要性が伝わらないと保護者等の理解が進まないこともあります、参加の輪が広がっていない。
- 好事例であっても活動経費不足などから活動規模が小さい。そのため他団体に知られていまっている。

## (2) 事業内容

地域防災クラブ等、子ども主体で防災に係る取組みを行う団体を5団体程度支援する。

<既に地域防災クラブ等の活動がある場合>

- 防災グッズづくり、防災用品使用体験の材料費  
(アルファ化米、簡易トイレ、水、段ボールベッド等)
- 防災キャンプ費用(炊き出し材料、講師報償費、光熱水費)
- フィールドワーク費用(地図、大判紙等)
- 防災イベント(防災フェアや訓練)(炊き出し材料、配布物品等)
- 上記の活動場所の会場借上げ費、印刷費
- 勉強会講師の派遣費用(報償費、旅費) 等

<これから活動を立ち上げる場合>

- 勉強会等講師の派遣費用(報償費、旅費) 等

<補助対象>

地域防災クラブ、自治会（自主防災組織）

【補助事業の狙い】

- ・既存の活動の持続
- ・費用面が原因で活動実施に至らない団体の設立支援
- ・地域の防災リーダーの育成
- ・岐阜県独自の「地域防災クラブ」を県外に発信
- ・少額の予算でも質が高い活動ができるとことを周知し、市町村・自治会（自主防災組織）  
の活動を促す

（3）県負担・補助率の考え方

- ・県内に取組み内容や、少額の予算でも質の高い活動ができるとことを普及させるべくモデル事業として行うため、県の補助が妥当

（4）類似事業の有無

部活動の地域移行等に向けた実証事業費（教育委員会）

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
補助金	500	補助金100千円×5団体
合計	500	

決定額の考え方

4 参考事項

（1）各種計画での位置づけ

- 有 「岐阜県地域防災計画」第2章 災害予防  
第2節 防災試走・防災知識の普及  
「第3期岐阜県強靭化計画」 第5章 強靭化の推進方針  
(10)リスクコミュニケーション/防災教育・人材育成～自助・共助の最大化～  
「第5期岐阜県地震防災行動計画」 3 地震防災における教育・啓発  
(3-2) 防災に関する人材の「育成・活躍推進

（2）国・他県の状況

- ・（文部科学省）地域クラブ活動への移行に向けた実証

（3）後年度の財政負担

事業終期まで一定の予算を要求する。

## 県単独補助金事業評価調書

<input checked="" type="checkbox"/> 新規要求事業
<input type="checkbox"/> 継続要求事業

### (事業内容)

補助事業名	地域防災クラブ等活動支援事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、地域防災クラブ (理由) 幼少期からの防災教育の充実、 地域の防災リーダー育成
補助事業の概要	(目的) 地域防災クラブの活動支援、設立支援 (内容) 地域の防災訓練企画、参加。地域防災クラブ設立準備 (他団体視察)、研修等
補助率・補助単価等	定額 (内容) 上限100千円、10/10 (理由)
補助効果	・既存の活動の持続、費用面が原因で活動実施に至らない団体の設立支援 ・地域の防災リーダーの育成 ・子どもを中心の防災活動の意義を周知 ・上記による、地域防災力の向上
終期の設定	令和10年度 (理由) 少額の予算でも質の高い活動ができるこどもや子ども中心の活動の意義が県内に周知されることをもって補助事業の役割を終える。

### (事業目標)

- ・終期までに何をどのような状態にしたいのか  
活動行っている地域防災クラブが、各圏域に複数存在する。

### (目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R )	R6年度 実績	R7年度 目標	R8年度 目標	終期目標 (R )	達成率
各圏域の地域防災 クラブ数	0~2			1以上	2以上	

補助金交付実績 (単位：千円)	R4年度	R5年度	R6年度

### (これまでの取組内容と成果)

令和4年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和5年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %
令和6年度	・取組内容と成果を記載してください。
	指標① 目標：_____ 実績：_____ 達成率：_____ %

### (事業の評価)

・事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない	(評価)
・事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり（単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり） 2：期待どおりの成果あり（単年度目標100%達成） 1：期待どおりの成果が得られていない（単年度目標50～100%） 0：ほとんど成果が得られていない（単年度目標50%未満）	(評価)
・事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている	(評価)

### (今後の課題)

・事業が直面する課題や改善が必要な事項 子どもが主体的に防災に取組むという事例が局所的かつ小規模で認知されておらず、県内全域に広がるよう周知が必要
--

### (次年度の方向性)

・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 小規模でも内容の濃い活動が可能である旨を広め、県内全域で自発的に活動が行われるよう期間を決めて取り組む。
--